

学びの改革推進プロジェクトチームについて

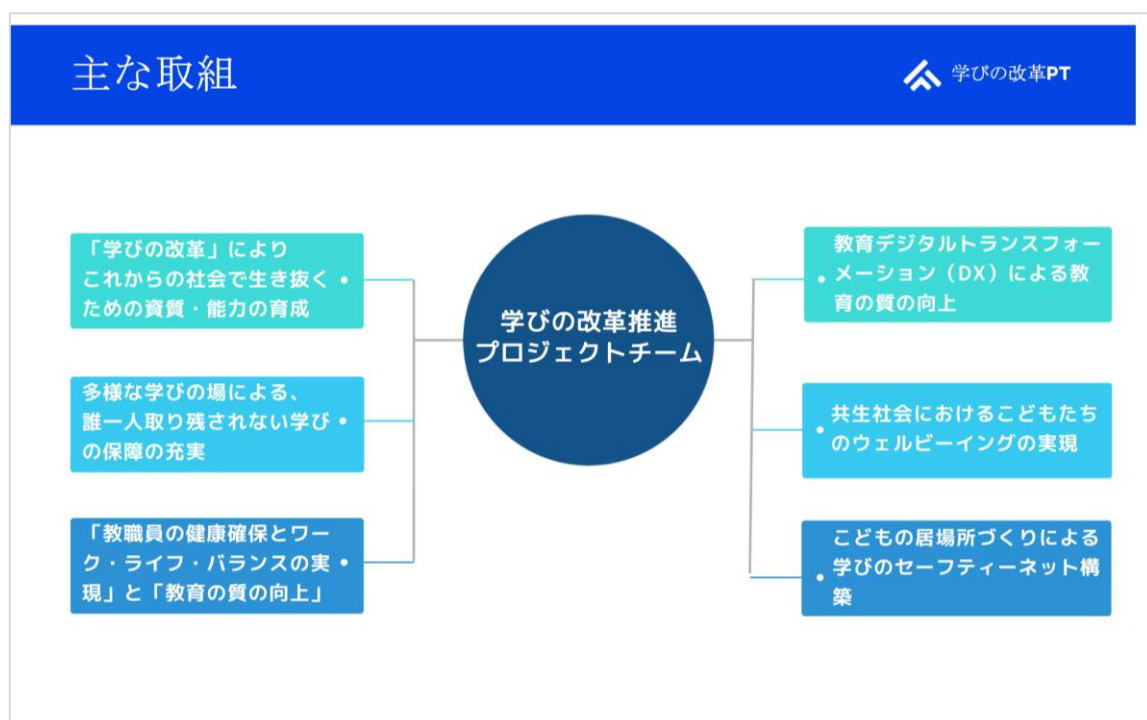
四日市市教育委員会

 学びの改革推進PT

学びの改革推進 プロジェクトチーム

多様化・複雑化された教育課題に対応するため
課の枠組みを超えたメンバーによるプロジェクトチーム

**set up a project team
for One Team**



教育課題が複雑化・多様化しているため、施策や対応を計画するには、課を超えて検討する必要がある。そこで、課題解決に向けて、見通しを持ち、提案していくことができるようにするため、学びの改革推進プロジェクトチームを組織した。

第 1 回 学びの改革推進プロジェクト会議

「学びの改革」によりこれからの社会で生き抜くための資質・能力の育成

課題提起

『令和7年度全国学力・学習状況調査を踏まえた児童生徒の学力向上』

《第 1 回プロジェクト会議 メンバー》

教育推進課 重内補佐、青木課付主幹、大熊課付主幹、三谷課付主幹

学校教育課 坂口課付主幹、内山課付主幹

育ち支援課 西村 GL、坂下登校サポートセンター所長

教育総務課 森川 GL、佐藤課付主幹

① 現状

- 本市児童は算数において基礎的な計算等の定着がみられた。繰り返しでの学習指導が徹底していることに効果がみられる。一方、計算の概念や意味合いを理解している児童が少ない。
また、算数、数学ともに、全国値と経年比較すると、正答率が年々減少している。多くの教師の授業づくりに工夫がみられるが、一律一斉型の授業はまだ多い。

② 課題

- 各校の学力・学習状況調査の結果分析が、学校づくりビジョンや研修の計画等と結び付いて捉えられていない。
- 子どもたちが主体的に学ぶ授業づくりのイメージが持てていない教師が多い。
- 学びの土台となる落ち着いた学習環境や教師や子どもたち同士の関係づくりに課題がみられる学校もある。
- 学力向上に向けた授業づくりだけでなく、学校ごとの抱える課題が多岐に及んでいる。
- 研修として公開授業をしているが、日常的な授業改善につながっていない。

③ 対応

- 指導主事等が学校のデータを分析した上で、学校を訪問し、授業改善のポイントを示す。(9 月)
- 指導主事等が取組状況を確認し、管理職に対し、助言する。(10 月、11 月)
- オンライン学習教材の学習ログを分析することで、より効果的な活用方法を校長会や各校の研修会等で示す。(12 月)
- 算数の「総括テスト(市作成)」を実施する。(1 月)